

S-Stage eco 取扱説明書

(レギュラーガソリン仕様)

商品番号 : 01 05 0017 (Hシリンダー)			
: 01 05 0018 (Vシリンダー)			
: 01 05 0019 (V A Sシリンダー)			
モンキー / ゴリラ	Z50J-2000001 ~	スーパーカブ 50	C 50-9000001 ~ 0095210
	AB27-1000001 ~ 1899999		C 50-0200001 ~ 0999999
モンキー B A J A	Z50J-1700001 ~		C 50-2100001 ~ 2299999
J A Z Z	全車		AA01-1000001 ~ 1699999
マグナ 50	全車	リトルカブ	C 50-4300001 ~
ベンリー C D 50 / C L 50 / 50 S	CD50-1500001 ~		AA01-3000001 ~ 3999999
		X R 50 / C R F 50 F 全車	

- ・この度は、弊社商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

▲ スパークプラグについてのご注意 ▲

スパークプラグは必ず C R 8 H S A (N G K) または、U 2 4 F S R - U (D E N S O) に交換して下さい。尚、抵抗無しプラグの場合は C 8 H S A (N G K) または、U 2 4 F S - U (D E N S O) に交換して下さい。スパークプラグ電極部の焼け具合により個々に合った番数を決定して下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

この取扱説明書に記載の作業はモンキーの車両を主体としており、他の車両に適さない場合があります。

ボルト、ナット、ロックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

Vシリンダー、V A Sシリンダーの場合はノーマルキャブレターが干渉します。ノーマルキャブレター取り付けの際には干渉部分を加工して下さい。

ノーマルキャブレターを装着される方は、エアクリーナーボックスおよび、エアクリーナーエレメントは取り外さないで下さい。キャブレターを交換される方は、個々に合ったセッティングを行って下さい。この事柄を無視した場合、エンジントラブルが起こり、重大な事故につながる恐れがあります。

▲ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
(部品の脱落の原因となります。)
- シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

⚠ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、換気の良い場所で作業を行って下さい。

性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

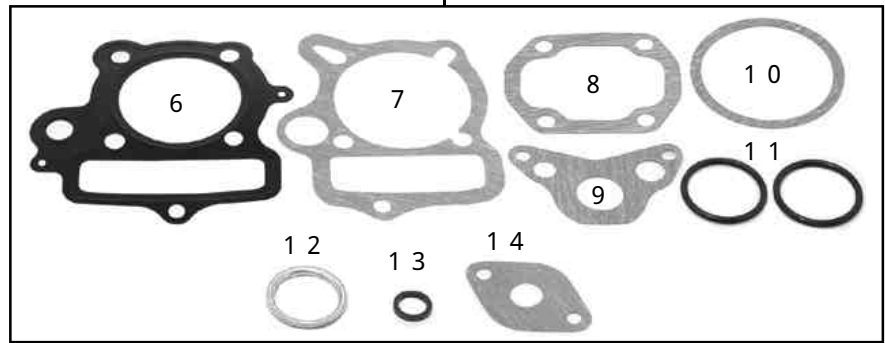
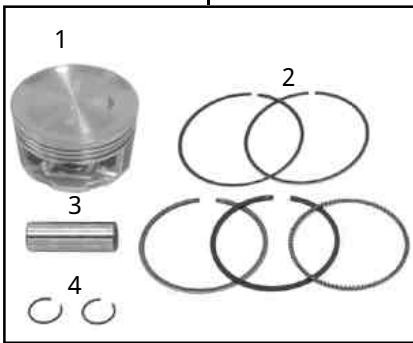
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

キット内容

01 02 0147
ピストンキット

01 13 0608
ガスケットセット



5
Hシリンダー

5
Vシリンダー
VASシリンダー

15



番号	部品名	個数	リペア品番	入数	番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン	1	13101 NSH T10	1	8	ヘッドカバーガスケット	1	00 01 0156	2
2	ピストンリング	1	01 15 014	1	9	右サイドカバーガスケット	1	00 01 0157	2
3	ピストンピン 13×36	1	13111 GEF T01	1	10	左サイドカバーガスケット	1	00 01 0158	2
4	ピストンピンサークリップ	2	00 01 0003	6	11	タペットキャップOリング	2	00 01 0034	4
5	シリンダー (Hシリンダー)	1	01 01 0241H	1	12	エキゾーストパイプガスケット	1	00 01 0064	2
	シリンダー (Vシリンダー)	1	01 01 0222	1	13	ラバーパッキン	1	00 01 0066	2
	シリンダー (VASシリンダー)	1	00 01 0263	1	14	インレットパイプガスケット	1	00 01 0159	2
6	シリンダーヘッドガスケット	1	12251 GFL T10	1	15	カムシャフト	1	01 08 0009	1
7	シリンダーガスケット	1	00 01 0067	2					

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

作業の前に

作業を行う前に車両は水平な場所で確実に安定させて下さい。備え付けのサイドスタンドで車両を支えるよりもレーシングスタンド等の使用をお勧めします。車両を確実に安定させながら作業を行うことが出来ます。

作業は必ずエンジンを停止させた上に冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。

フューエルコックはOFFにして下さい。

再使用するボルトやナットや各パーツは取り外した際にホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにして下さい。

取り外したボルトやナットや各パーツは無くさないよう、どの場所を使用するのかわかるように保管して下さい。

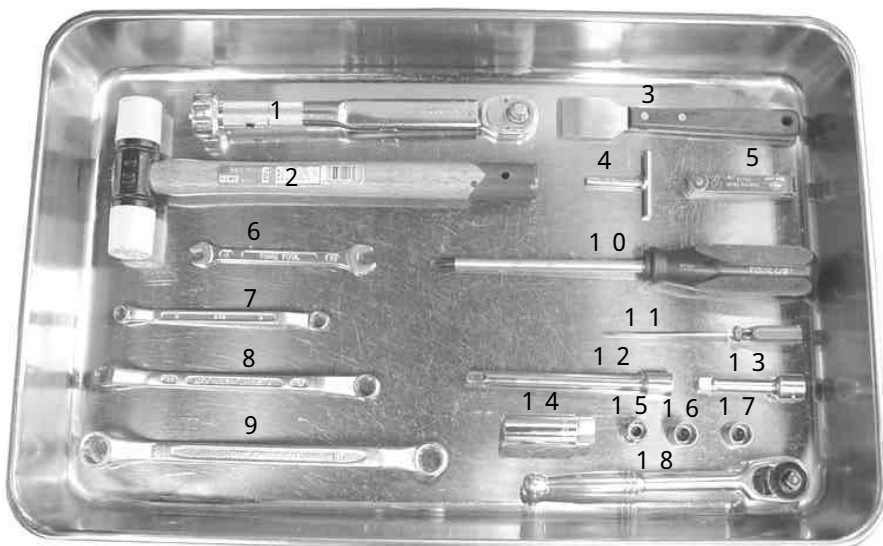
工具について

正しい工具を正しく使用しない場合はボルトやナットや各パーツのかかり部分やネジ部分が破損する場合があります。

取り付けの経験が無いほど正しい工具が必要です。また、それらを正しく使用する経験も同様に必要です。準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

この商品の取り付けに使用する工具等を下記に掲載しますので参考にして下さい。なお、車種やその年代により工具の内容が異なる場合がありますのでご了承下さい。

工具は同じ名前のもので数々のメーカーや種類があったり、同じ工具でも名前が違ったりします。また、好みもありますので参考程度でお考え下さい。



1	トルクレンチ
2	プラスチックハンマー
3	スクレーパー
4	タペットアジャストレンチ
5	シクネスゲージ
6	スパナ 8 - 10
7	メガネレンチ 8 - 9
8	メガネレンチ 10 - 12
9	メガネレンチ 14 - 17
10	プラスドライバー サイズ1
11	マイナスドライバー 極細先
12	エクステンションバー 中
13	エクステンションバー 小
14	プラグソケット 16mm
15	ソケット 8mm
16	ソケット 10mm
17	ソケット 12mm
18	ラチェットレンチ
	ウエス
	エンジンオイル（塗布用）

ボルトについて

普通、ボルトとナットは反時計方向に回すと緩み、時計方向に回すと締まります。

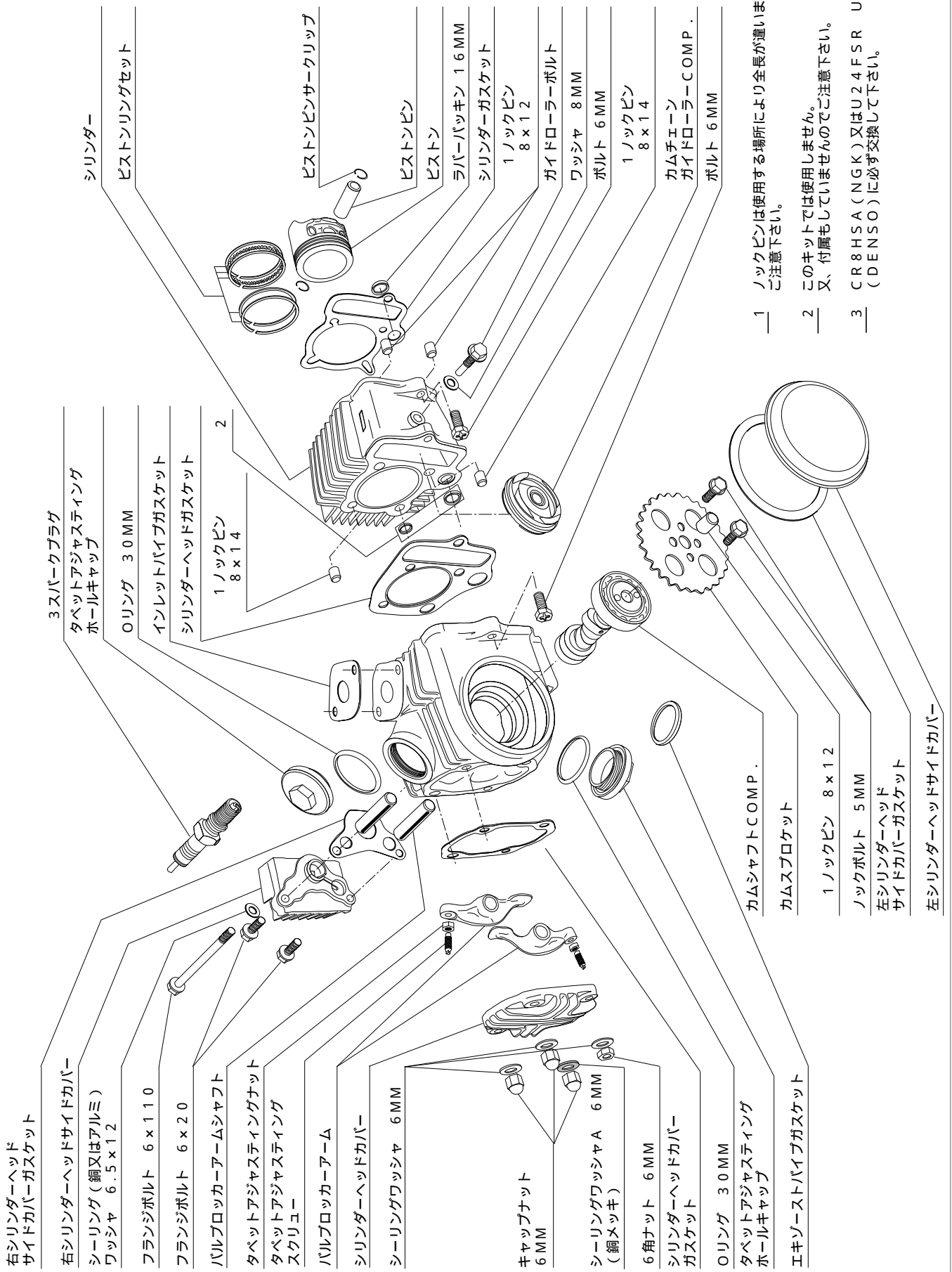
ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるまで締めましょう。

ネジを緩めるということは、締まっている状態から3～4回転反時計方向に回すことをいい、取り外すということはネジが取れるまで反時計方向に回すことをいいます。

ネジを締めるということは、ネジを緩まないように締めることをいいます。ただ、ボルトは強く締め過ぎると折れ、弱過ぎると走行中に振動等で緩んで部品脱落の恐れがあり、大変危険です。ボルトが折れない・緩まないような締める力を数値として表したのが規定トルクです。また、その数値はボルトの大きさによって変わります。

トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない・緩まない力でネジを締められるのであれば試して下さい。但し、弊社では責任を負いません。トルクレンチが無くてもどのぐらゐの力で締めると折れるのか、緩むのかは経験と勘でしか補えません。

各部品名称



- 右シリンダーヘッド
サイドカバーガスケット
- 右シリンダーヘッドサイドカバー
- シーリング (銅又はアルミ)
ワッシャ 6.5 x 1.2
- フランジボルト 6 x 1.10
- フランジボルト 6 x 2.0
- バルブロッカーアームシャフト
- タペットアジャスティングナット
- タペットアジャスティング
スクリュウ
- バルブロッカーアーム
- シリンダーヘッドカバー
- シーリングワッシャ 6MM
- キャップナット
6MM
- シーリングワッシャA 6MM
(銅メッキ)
- 六角ナット 6MM
- シリンダーヘッドカバー
ガスケット
- Oリング 30MM
- タペットアジャスティング
ボールキャップ
- エキゾーストパイプガスケット

- 3スパークプラグ
- タペットアジャスティング
ボールキャップ
- Oリング 30MM
- インレットパイプガスケット
- シリンダーヘッドガスケット

- 1 ノックピン
8 x 1.4

- シリンダー
- ピストンリングセット
- ピストンピンサークリップ
- ピストンピン
- ピストン
- ラバーパッキン 16MM
- シリンダーガスケット
- 1 ノックピン
8 x 1.2
- ガイドローラーボルト
- ワッシャ 8MM
- ボルト 6MM
- 1 ノックピン
8 x 1.4
- カムチエーン
ガイドローラーCOMP.
- ボルト 6MM

- カムシャフトCOMP.
- カムスプロケット
- 1 ノックピン 8 x 1.2
- ノックボルト 5MM
- 左シリンダーヘッド
サイドカバーガスケット
- 左シリンダーヘッドサイドカバー

- 1 ノックピンは使用する場所により全長が異なります。
ご注意ください。
- 2 このキットでは使用しません。
又、付属もしていませんのでご注意ください。
- 3 CR8HSA (NGK) 又はU24FSR U
(DENSO) に必ず交換して下さい。

ご走行前に

お願い

一般公道を走行される場合は小型2輪以上の免許を取得し、市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。

原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。キット内の原付2種マークをお貼り下さい。

スプロケットの変更

このキットを取り付けると出力がアップし、ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて扱いにくい状態になります。また、各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあるために必ずドライブ/ドリブンスプロケットを変更し、スプロケットのハイギア化を各自で行って下さい。

スプロケットはキット内に含まれておりません。

スプロケットはクラッチ形式やホイールサイズにより変わります。下の表を参考にして下さい。また、体重や使用用途、好みによるものもありますので参考程度でお考え下さい。

ドリブンスプロケットを変更する時はリアホイール周りを取り外します。レーシングスタンド等で車両を確実に支え、リアホイールを浮かせて作業を行って下さい。

S ステージ Cタイプ 推奨スプロケット(体重65kg時)

車種	仕様			推奨スプロケット	
	リアホイールサイズ	クラッチ	トランスミッション	ドライブスプロケット(フロント)	ドリブンスプロケット(リア)
12Vモンキー・ゴリラ	8インチ	マニュアル	4速	16	23
		強化スペシャル	4速	16	25
	10インチ	マニュアル	4速	16	25
		強化スペシャル	4速	16	28
ベンリ CD50/CL50/50S	17インチ	マニュアル	4速	16	42、43(ノーマル)
マグナ50		マニュアル	4速	16	33
ジョルカブ	10インチ	遠心	4速	16	31
12Vダックス	10インチ	遠心	3速	16	31
スーパーカブ50	17インチ	遠心	4速	16	42(ノーマル)
			3速	16	35
リトルカブ	14インチ	遠心	4速	16	41(ノーマル)
			3速	16	35

ノーマルのスプロケットから推奨スプロケットに変更すると調整だけではドライブチェーンのたるみを無くすることが出来ない、または足りなくなる場合があります。チェーンカッター等を使用してチェーンを短くする必要や、新たにドライブチェーンを用意する必要があります。特に、モンキーの場合などはスイングアームの長さによりチェーンの長さも変わります。

使用ガソリンについて

このキットはレギュラーガソリンを使用出来るように圧縮比を設定しておりますが、ノーマル点火時期にて使用することに限りです。点火時期を極端に早める場合には対応しかねますのでご了承下さい。

更なる性能を発揮させるために

キャブレター

S ステージの出力を有効に引き出す、各車種専用のビックボアキャブレターキットを取り付けることにより、更なるパワーアップが可能です。

S ステージ Cタイプ 推奨ビックボアキャブレターキット

車種	品番
モンキー・ゴリラ	03 05 320
ベンリ CD50/CL50/50S	03 05 033
マグナ50	03 05 310
ダックス	03 05 321
スーパーカブ・リトルカブ	03 05 039

マフラー

更なるパワーアップには弊社製各種マフラーをご使用下さい。

オイルポンプ

出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。大量のオイルを循環し各部の冷却や負担を軽減するスーパーオイルポンプの装着をお勧めします。

S ステージ Cタイプ 推奨スーパーオイルポンプ

車種	品番
モンキー・ゴリラ	
ベンリ CD50/CL50/50S	
マグナ50	01 16 0053(加工工具付属)
ジョルカブ	01 16 0052(加工工具無)
ダックス	
スーパーカブ・リトルカブ	

オイルクーラー

エンジンに長時間の負荷を与える走行はエンジン発熱量が更に増大します。油温を適切に保ち、高温時に発生する油膜切れ等を防止するオイルクーラーキットの装着をお勧めします。

STD部品取り外し

1. キャブレターを取り外す



ガソリタンク左下部にあるガソリンコックをOFFにする。



シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト2本を取り外す。



エアクリーナーステー部のボルトを取り外す。



フューエルホースと大気ホースを取り外す。スロットルケーブルを取り付けたままキャブレターASSYを車体から離し左前方のウインターに引っかけておく。

2. マフラーを取り外す



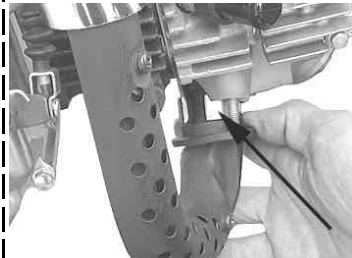
EXパイプ部のナット2個を取り外す。



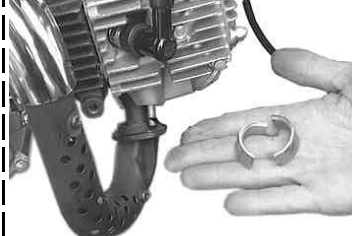
マフラー本体を止めている6角ボルトを取り外す。



マフラー本体裏側に止まっているナットを反時計方向に回し取り外す。



フランジのカラー2個を取り外し外側に引く様にしてマフラーを車体から取り外す。



3. フロントフェンダーを取り外す

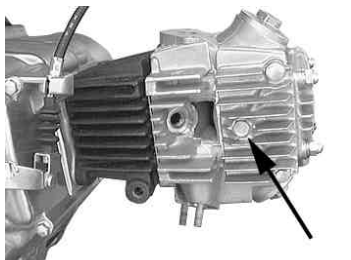


フロントフェンダー裏側の6角ボルト2本を取り外す。



プラグキャップをプラグから引っ張って取り外す。必ずキャップ部分をつかんで引っ張って外して下さい。プラグを取り外す。

5. シリンダーヘッド左カバーを取り外す



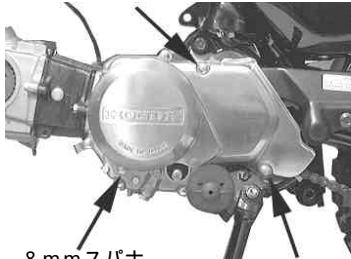
シリンダーヘッド右カバーの真ん中の6角ボルトを外すと左カバーが外れる。(ボルトを外しても外れない場合6角ボルトを2-3山ねじ込み6角ボルトの頭をハンマー等で軽くたたくと外れる)



6. クランクケース左カバー取り外す



シフトベダルの6角ボルトを外しシフトベダルを取り外す。



8mmスパナ

クランクケース左カバーを止めているボルト3本を取り外す。

7. タベットキャップ2個を取り外す



タベットキャップ2個を取り外す。

8. カムスプロケットを取り外す



切り欠き



フライホイールのTマークとカムスプロケットのOマークが各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。

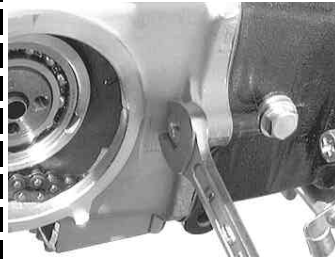


フライホイールを固定しカムスプロケット6角ボルト2個を取り外す。

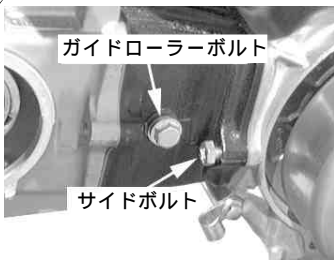


カムプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外す。カムチェーンをカムスプロケットから外してカムスプロケットを取り出す。カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。

9. シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す



シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを取り外す。

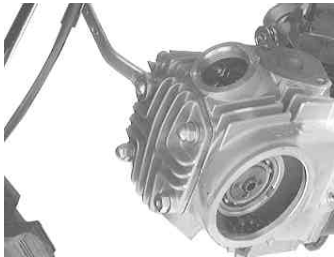


ガイドローラーボルト

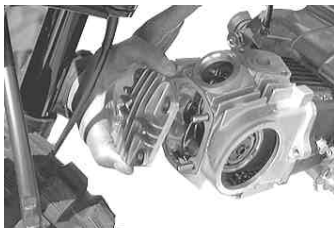
サイドボルト

シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトを緩める。

10. シリンダーヘッドカバーを取り外す

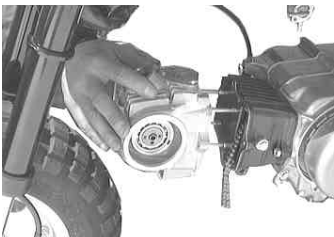


シリンダーヘッドカバーを止めているナット4個を対角の順番に取り外す。ナット下にあるワッシャ4枚を取り外す。

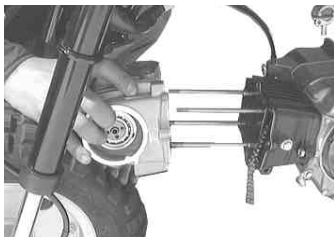


ヘッドカバーを取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す) シリンダーヘッドにガスケットが残った場合は、スクレーパーかカッター等できれいに取り除く。

11. シリンダーヘッドを取り外す



シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。(かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)

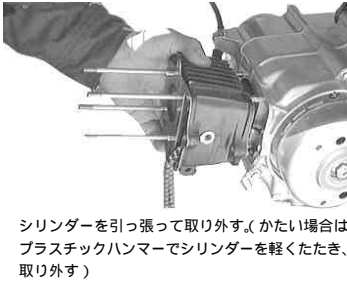


フロントタイヤを押しながらシリンダーヘッドを取り外す。ノックピン2個は再使用するので取り外しておかない。

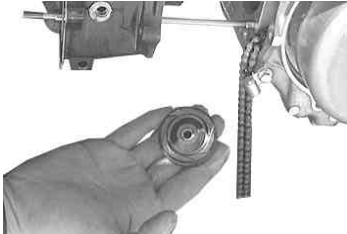
12. シリンダーを取り外す



緩めておいたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを取り外す。



シリンダーを引っ張って取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外す)



シリンダーを抜く途中でカムチェーンガイドローラーが出てくるので取り外す。



ピストンが抜けたらタイヤを手で押さえながらシリンダーを前方へ取り外す。

13. ピストンを取り外す



クランクケースのシリンダーホールとカムチェーン部にゴミや部品などを絶対落とさないようにウエスを詰め込む。

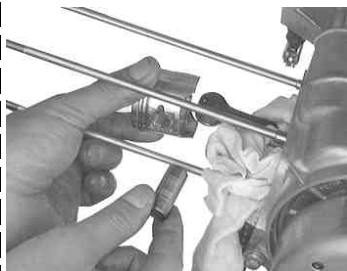


ピストンサークリップ

ピストンサークリップの片側を取り外す。ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじめるようにすると外れます。



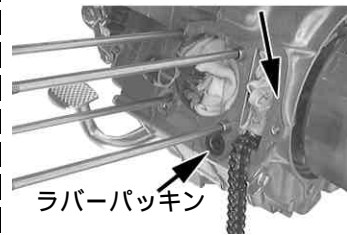
ピストンピンをピストンサークリップが付いていない方向へ取り外す。ピストンサークリップの付いている方向からマイナスドライバーで押してあげると簡単にとれます。



ピストンを取り外す。

14. シリンダーガスケット・ラバーパッキン・ノックピンを取り外す

シリンダーガスケット



ラバーパッキン



ガスケットがきれいにはがれない場合クランクケースにキズを入れないようにスクレーパーできれいにはがす。この時クランクケースセンターガスケットがシリンダーベース面やシリンダーホール部にはみ出ている場合は切り取っておく。クランクケース内にゴミや部品などを絶対落とさないように。



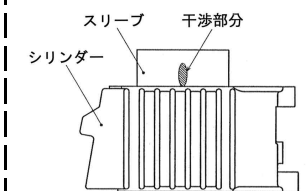
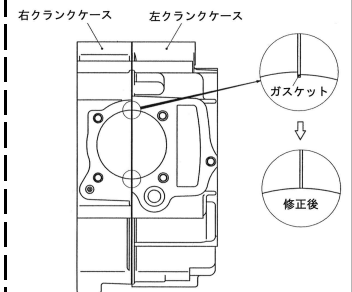
上写真の指さし部にはみ出ているガスケットがあれば切り取っておく。

アルミシリンダー取り付け時の注意

左右クランクケースのズレ等により、シリンダーを取り付ける際、クランクケース合わせ面のスリーブ穴、丸印部分とシリンダーのスリーブの斜線部分及びケース内部で、干渉する場合があります。そのままの状態で使用するとスリーブが変形しエンジントラブルの原因となりますので必ず点検、修正して下さい。

修正要領

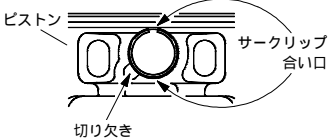
- クランクケース内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰める。
- クランクケース合わせ面のズレの出っ張っている部分を引っ込んでいる部分と同じ高さになるまでヤスリで削ります。
- 削り取ったら削り粉がクランクケース内に入らないよう慎重にウエスを取り除く。
- ウエスを取り除いた後は、きれいなウエスをクランクケースの穴に詰めておく。
- キットの組立が終わってエンジンをアイドリングで数分かけた後、すぐにエンジンオイルを新品に交換すればOK。



Vシリンダー、VASシリンダーはノーマルキャブレターが干渉します。ノーマルキャブレター取り付けの場合はシリンダーの干渉箇所を加工して下さい。

S - Stage KIT 取り付け

1. ピストンを組み付ける

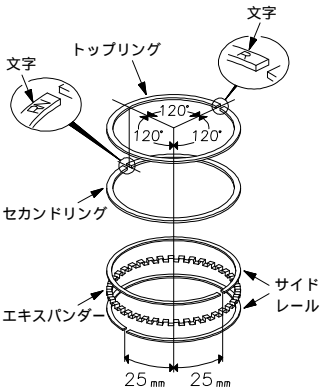


ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて、ピストン上下方向に向けて取り付ける。

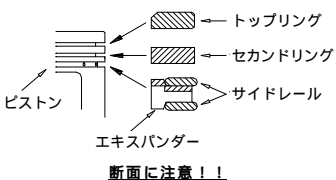


左側

ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられます。ピストンサークリップは左側を先にはめ込みます。ピストンリング溝にエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。ピストンリングの合い口をそろえる。



トップリングの上面にはRの刻印セカンドリングの上面にはRNの刻印があります。



オイルリングエキスパンダーを入れる。



下オイルリングサイドレールを入れる。



上オイルリングサイドレールを入れる。



セカンドリングを入れる。



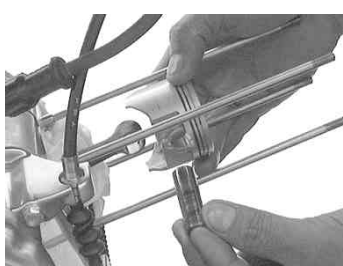
トップリングを入れる。



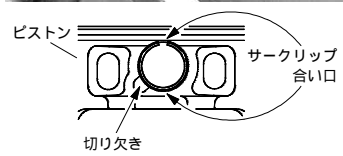
ピストンピン部とコンロッドにエンジンオイルを塗りピストンピンを取り付ける。



"IN"文字が上(インテーク側)になるようにピストンを取り付けます。



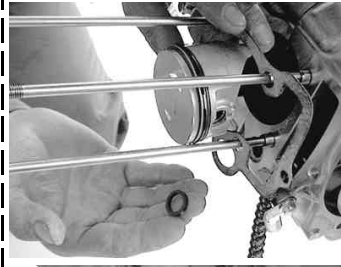
ピストンに三分の一程度ピストンピンを挿入しておいて取り付けるのも簡単な方法ではある。



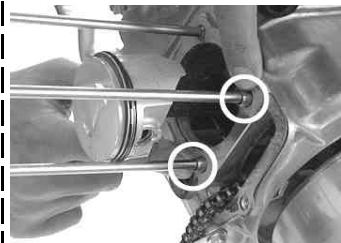
付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて、ピストン上下方向に向けて取り付ける。ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられます。押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまうことがあるので慎重に行ってください。目に入らぬように防護メガネなどを着用して下さい。詰っていたウエスを取り外す。

2. シリンダーの取り付け

シリンダーガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。



シリンダーガスケットとラバーパッキンを取り付ける。



ノックピン2個が取り付けられているか点検。



キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。

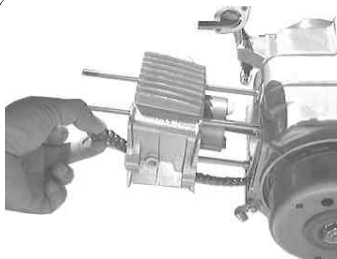


タイヤを押さえながらシリンダーを入れていく。

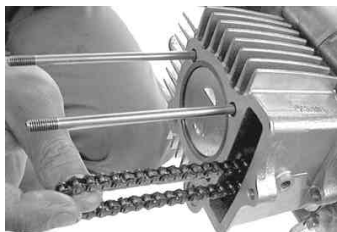


シリンダーをピストンリングの合い口がずれないようにしながら指で押し少しずつはめる。

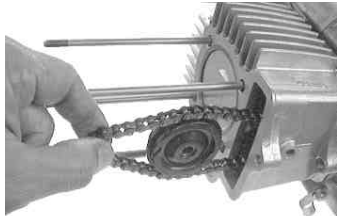
3. カムシャフト交換



リングがシリンダーにはいたらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースにはめる。



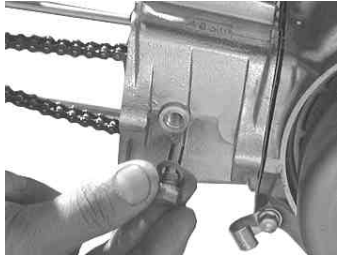
カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーを付ける。



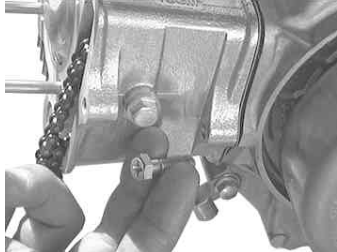
シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。



シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。



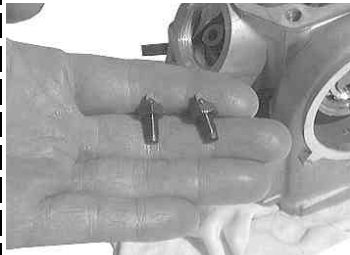
シーリングワッシャとガイドローラーボルトを取り付ける。
(指で閉まる程度まで仮止め)



シリンダーサイドボルトを取り付ける。
(指で止まる程度まで仮止め)



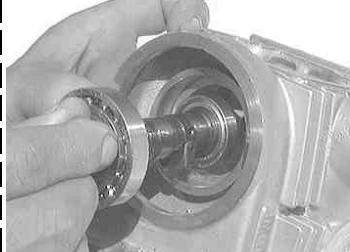
シリンダーヘッドに組まれているロッカーアームのタペットナットとボルトを取り外す。タペットナットを緩めた時点でタペットボルトをナットと一緒に取り外す。



カムシャフトにカムスプロケットボルトを取り付け、引っ張るかプラスチックハンマーでヘッドを軽くたたきと抜けてくるので無理に引っ張らずカムシャフトを回しながら取り外す。



キット内のカムシャフトを逆の手順で取り付け。カムシャフト・カムシャフトベアリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。入りにくてもハンマー等でたたかず手で入れる。



キット内のカムシャフトを逆の手順で取り付け。カムシャフト・カムシャフトベアリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。入りにくてもハンマー等でたたかず手で入れる。



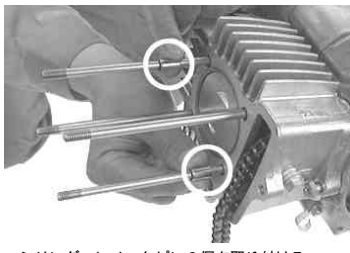
ノーマルカムのノックピンをキットカムに取り付ける。



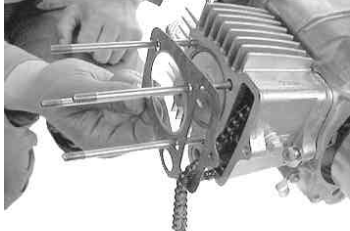
ロッカーアームのタペットスクリューを取り付ける。

4. シリンダーヘッド取り付け

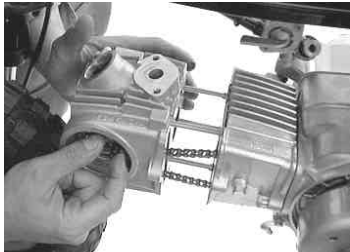
シリンダーヘッド面とシリンダー上面をシンナー等で脱脂する。



シリンダーにノックピン2個を取り付ける。



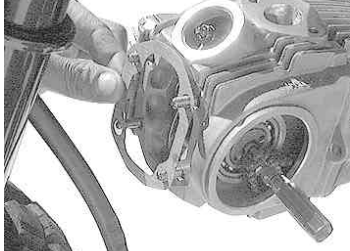
ヘッドガasketを取り付ける。



タイヤを手で押しながらシリンダーヘッドをスタットボルトに通す。シリンダーヘッドにカムチェーンを通して取り付ける。



カムチェーンはシリンダーの方に落ちない様にカムシャフトの真ん中の穴にドライバー等を入れてカムチェーンを止めておく。



シリンダーヘッドカバーのガスケットとヘッドカバーを取り付ける。



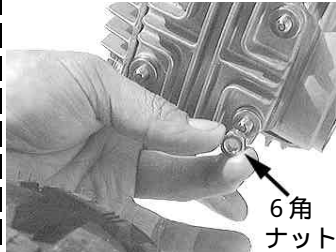
上下マークに注意

矢印は下の方向です。

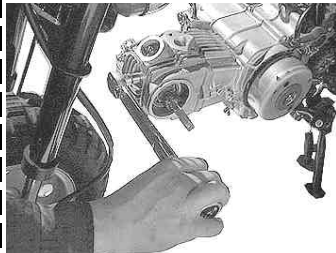


銅ワッシャ

ヘッドカバーのワッシャとナットを取り付ける。(エンジンを前から見て左下が銅ワッシャ残りの3つは鉄ワッシャ、右下が六角ナット残りの3つが六角ナット)

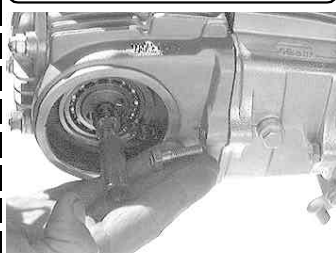


六角ナット



ヘッドナットを均等に締め付ける。
(トルクレンチがない場合は対角に少しずつしっかり締める)

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：1.2 N・m (1.2 kgf・m)



ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止めていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。

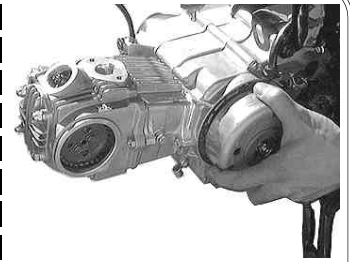
6. バルブタイミング調整とタレット調整

切り欠き



Oの刻印

シリンダーヘッド側



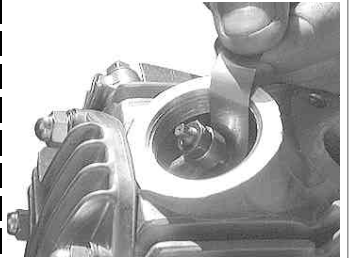
タレット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転手で回した後でTマークとOマークを合わせる。

切り欠き



F T

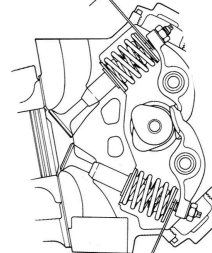
フライホイール側



タレットすき間が変化していないが点検しすき間が合っていればOK、くるっている場合は調整する。

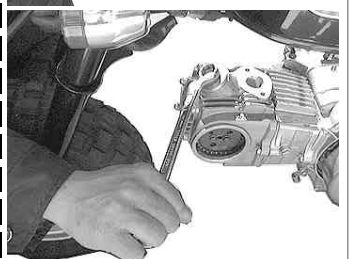
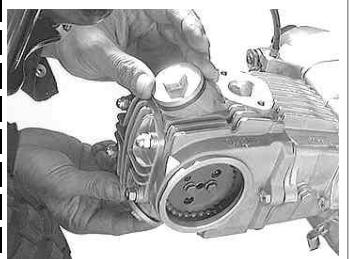
カムシャフトのOマークとフライホイールのTマークがそれぞれの切りかきに合うようにして止める。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止まらないがカムプロケットを取り付けてTマークとOマークが同時に合えばOK。

バルブクリアランス
(インテーク側)



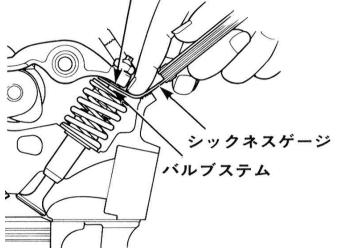
バルブクリアランス
(エキゾースト側)

アジャストスクリュー



タレットキャップ2個を取り付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)



シクネスゲージ
バルブシステム

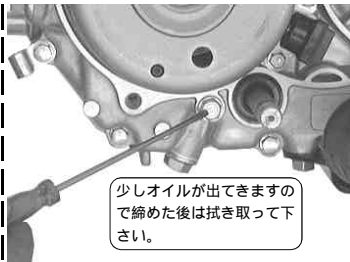
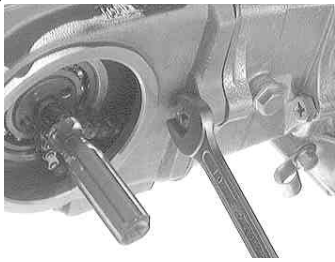


ロッカーアームのタレットスクリューを締め込んでいきタレットスクリューとバルブシステムエンドの間に0.05ミリのシクネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタレットナットを締め付ける(少し抵抗があるというのがわからない場合0.07と0.03のシクネスゲージを用意して0.07がすき間に入らず0.03がゆるく入る様に合わせればだいたい0.05ミリということになる)
IN・EX共に0.05ミリに合わせる。

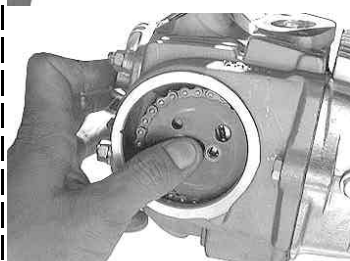
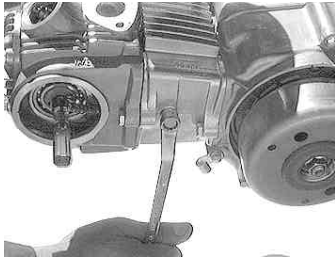
7. シリンダーヘッド左カバー取り付け



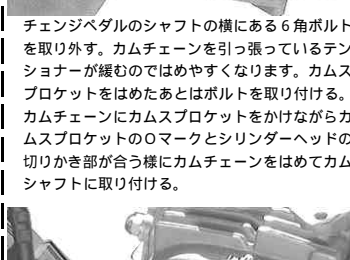
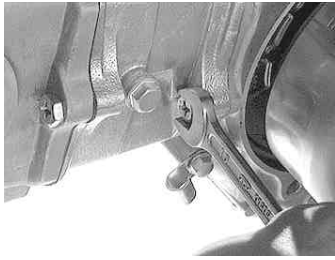
シリンダーヘッド左カバーガスケットと左カバーを取り付ける。
(左サイドカバーがボルトを締めるときに右回りにしないように回り止めを合わせる)



少しオイルが出てきますので締め後は拭き取って下さい。



チェンジベダルのシャフトの横にある六角ボルトを取り外す。カムチェーンを引っ張っているテンショナーが緩むのではめやすくなります。カムプロケットをはめたあとはボルトを取り付ける。カムチェーンにカムプロケットをかけたからカムプロケットのOマークとシリンダーヘッドの切りかき部が合う様にカムチェーンをはめてカムシャフトに取り付ける。



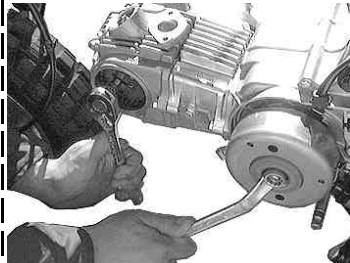
△注意：必ず規定トルクを守る事。
ガイドローラーボルト
10 N・m (1.0 kgf・m)
サイドボルト上下
10 N・m (1.0 kgf・m)

5. カムプロケットの取り付け

切り欠き



フライホイールのTマークをクランクケースの切り欠き部に合わせる。



フライホイールを固定してカムプロケットボルトを2本締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：9 N・m (0.9 kgf・m)

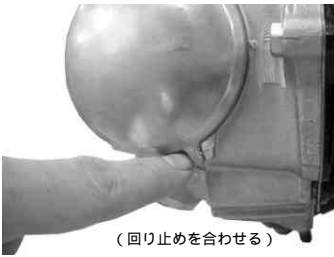


カムプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けたときカム山がピストン側を向く様にカムシャフトをセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点です。オプションカム取り付けの場合、オプションカムの説明書の指示に従って下さい。

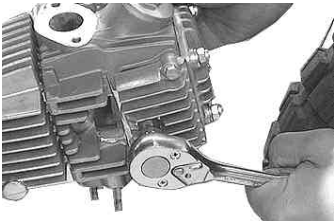
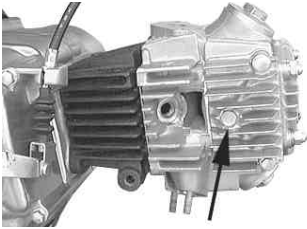


先程、取り外したチェンジベダルシャフト横の六角ボルトを取り付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)



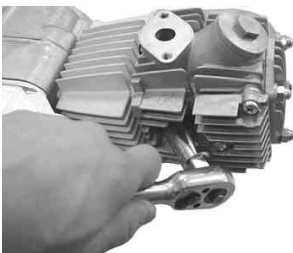
(回り止めを合わせる)



シリンダーヘッド右側の6角ボルト(矢印)を締める。

△注意: 必ず規定トルクを守る事。
トルク: 1.2 N・m (1.2 kgf・m)

8. スパークプラグの取り付け

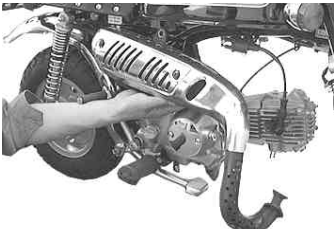


プラグレンチを使いプラグを取り付ける。

△注意: 必ず規定トルクを守る事。
トルク: 1.1 N・m (1.1 kgf・m)

プラグキャップをプラグに取り付ける。

9. ノーマルマフラーの取り付け



マフラーは、先にテールパイプをリアショックの内側を通しフランジ部分をシリンダーヘッドの排気出口付近まで持って行く。



フランジのカラー2個をエキゾーストパイプを挟み込むようにして取り付ける。



E Xパイプ部のナット2個を締める。(仮止め)

△注意: 必ず規定トルクを守る事。
トルク: 1.0 N・m (1.0 kgf・m)



マフラー本体裏側にナットを取り付ける。(仮止め)

△注意: 必ず規定トルクを守る事。
トルク: 1.0 N・m (1.0 kgf・m)

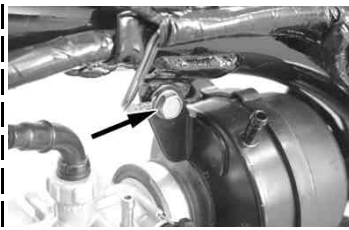


マフラー本体を止めている6角ボルトを取り付ける。(仮止め)

△注意: 必ず規定トルクを守る事。
トルク: 2.6 N・m (2.7 kgf・m)

仮止めの三カ所を締め付ける。

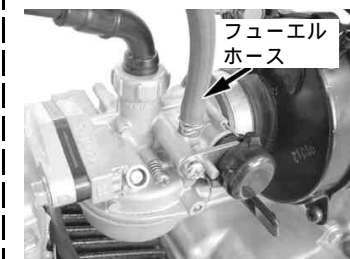
10. ノーマルキャブレターの取り付け



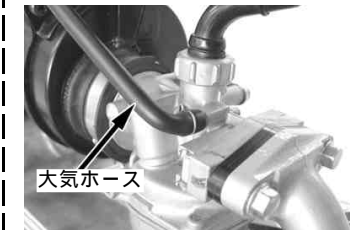
エアクリーナーステー部のボルトをアース線と共締めで取り付ける。



ストレージタンクのホース(フレームNO. AB 27-の車両)を取り付ける。



フューエルホース



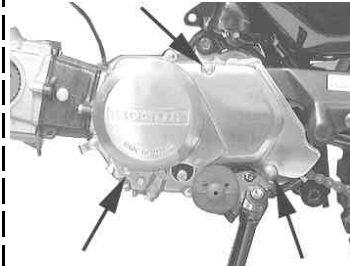
大気ホース

フューエルホースと大気ホースを取り付ける。



フューエルコックをONにする。

11. クランクケース左カバーの取り付け



クランクケース左カバーを止めているボルト3本を取り付ける。

△注意: 必ず規定トルクを守る事。
トルク: 1.0 N・m (1.0 kgf・m)



チェーンベダルを取り付ける。

△注意: 必ず規定トルクを守る事。
トルク: 1.0 N・m (1.0 kgf・m)

12. フロントフェンダーを取り付ける



フロントフェンダー裏側の6角ボルト2本を締めて取り付ける。

△注意: 必ず規定トルクを守る事。
トルク: 1.0 N・m (1.0 kgf・m)

タイヤに空気を入れる。
エンジンから足廻りまで取り付けられたボルト類に緩みがないかチェックする。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721 25 1357 FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857
URL <http://www.takegawa.co.jp>